

# 在京花巻人

発行 在京花巻人会  
連絡事務所

東京都千代田区飯田橋  
4-4-8 東京中央ビル603号  
電話 03-6256-8082

## 令和2年度の活動方針

在京花巻人会 会長 瀬川 紘一



突然降ってわいたように、しかも世界中を恐怖におとしめている新型コロナウィルスですが、このところ日本でも猛威を振るい始めています。皆様には、不安と不自由さに耐える苦しい日々が続いていることと思いますが、何とか早急に収束に向かうよう心より祈念申し上げます。

さて、7月11日に予定しておりました第35回「在京花巻人のつどい」も、誠に残念ですが中止させて頂くことに致しました。総会に諮る予定の令和元年度活動報告と決算、令和2年度の活動計画と予算については、改めて会員の皆様のご了解を頂く方法を検討したいと思えます。ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

感染症対策と言え、ダイヤモンドプリンセス号の防疫対策の不徹底、PCR検査の不可解な非効率性、総理の唐突な政治判断等の不手際に、現政権がこの難局を乗り切れるのか心配になります。それで思ひ出されるのが、カミュの「ペスト」(1947)という小説です。アルジェリアのオランという町がペストの発生で封鎖・隔離されるのですが、人々のペストとの悲惨な戦いが描かれています。

小説の主人公リウー医師は言います「今回の災厄では、ヒロイズムは問題じゃない、問題は誠実さということです。ペストと戦う唯一の方法は

誠実さです」と。そして「誠実さとは、地に足の着いた真つ当な倫理です」と続けます。今回も、国のリーダーは「国民への誠実さ」が今後問われていくのではないのでしょうか。

今一つの観点は、リウーが「人々は自分が自由だと信じていたが、天災が存在する限り誰も自由にはなれないのだ」と気づく場面です。即ち、人々は災厄で不自由さを思い知り、自由は人が強く意識することで始めて存在しうると気が付く。小説「ペスト」の10年後、丸山真男も「日本の思想」の中で、「自由は置物のようにそこにあるのではなく、(中略)日々自由にならうとすることではじめて自由でありうる」と述べています。この「自由」は「民主主義」と置き換えてよいと

思いますが、一方で日本の民主主義の脆弱さを自覚させられます。さて、日本の新型コロナウィルス感染対策で救いだつたのは、中央政府と対照的な地方の首長や公務員の方々の「誠実さ」です。やはりこのような難局のときこそ、地方の存在意義が際立つてきます。その地方と首都圏を繋ぐことに誇りを持って、今年度も活動を続けたいと思えます。

今年度の活動方針も、例年通り会員同士の交流・親睦を図ること、花巻市活性化への貢献の二本柱です。特に首都圏で花巻市の活性化に貢献できないか模索する私達にとって、総務省の「関係人口」創出事業への取組みは良い刺激になりました。関係人口

### 会費納入のお願いと納入状況の報告

**1. 令和2年度会費納入のお願い**  
在京花巻人会の運営にご協力を賜りありがとうございます。  
花巻人会は会員の皆様からの会費で運営させて頂いています。会費は「花巻人のつどい」「会報の発行」「歩こう会」等に使用させて頂いています。令和2年度の会費3,000円は同封の振込取扱票(手数料不要)で最寄りの郵便局より下記の口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。  
在京花巻人会会長 瀬川 紘一  
口座名義 在京花巻人会  
口座記号番号 00240-6-111794

**2. 令和元年度の会費納入のお礼と納入状況**  
元年度の会費納入金額は3月末現在265名795,000円、この他に5名の方から31,000円の寄付を頂き合計826,000円でした。会員皆様のご理解とご協力に感謝とお礼を申し上げます。 会計担当 高橋良光 板垣雅子

とは、自分が住む場所以外の特定の地域と継続的に関わりをもつ人のこととして注目されています。会員相互の交流・親睦活動については、今年度も会員相互と会員と花巻を繋ぐ大切な媒体である「会報」の3回の発行、それに秋に実施する歩こう会が中心です。残念ながら新型コロナウィルスのため、前半の5月の歩こう会、7月の「在京花巻人のつどい」は中止となりました。

次に、花巻市の活性化への貢献です。まず会報やメルマガで地元花巻の情報発信し、会員の花巻への理解と関心を高めること。次に、首都圏で各種観光物産展への会員の積極的な動員。更に、今年度は在京東和町

### 第35回「在京花巻人のつどい」中止

来る7月11日(土)、御茶ノ水の東京ガーデンパレスで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とさせていただきます。

友会が幹事となり、在京花巻ふるさと会として実施される「ふるさと支援ツアー」への会員の参加です。又、今年度も会員に各ふるさと会の活動への参加を促し、在京花巻ふるさと会としての活動を盛り立てます。  
以上、今年度の活動方針にご理解を頂き、在京花巻人会の活動にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 会員の活動報告コーナー

## 2020岩手県人連合会「新春懇親会」開催される

去る2月2日(日)、上野不忍池に近い東天紅に於いて、岩手県人連合会の恒例の新春懇親会が開催され、230名近い参加者が集いました。12時45分に、県連幹部事務局次長の司会で開会宣言。早速、最初のアトラクションの川崎をベースに活躍する「平間わんぱく少年団」の「和太鼓・祭音(まつりね)」

グループによる「三本柳さんさ踊り」が披露されました。

続いて、鈴木文彦会長が最近全国的に話題になった岩手県に関連した事柄を軽妙な話術で紹介し、会場を和ませました。さらに、岩手県東京事務所の高橋達也所長より来賓の挨拶があり、乾杯は若手日報社東京支社鈴木淳支社長が発声で、各テーブルに置かれた岩手県の地酒で乾杯となりました。



今回も、在京花巻ふるさと会から18名の参加があり、県連ふるさと会の中で最大人数の参加となりました。在京花巻人会からも瀬川会長以下8名が参加、蟹沢在京東和町友会会長、内村在京大迫人會会長も参加しました。在京石鳥谷町人會の高橋弘美会長は、今回は盛商同窓会東京支部長としての参加となりました。

り、二つ目のアトラクション、岩手県洋野町出身の演歌歌手「三本木智子」の歌唱が始まりました。三陸復興応援歌というサブタイトルのある「三陸大漁祝い酒」が大いに受けて喝采を浴びていました。

東天紅は、さすがに老舗の中華料理店で、会場も立派で雰囲気も良く、料理は出てくるもの全て一級品で参加者も大いに楽しんでおりました。

最後は、若手県連副会長の佐藤敏郎氏の閉会の辞があり、散会となりました。なお、6月7日(日)の「若手県人の集い」は、新型コロナウイルスのため中止となりました。

### 第三十五回

#### 友好都市平塚での「花巻」物産と観光展」

副会長 畠山 秀

去る二月十三日(土)恒例の友好都市平塚での物産と観光展が開催されました。

今回は平塚市との友好都市提携三十五回目を記念の年とし『ありがとう平塚市』をテーマに開催され、多くの市民の皆様



の来店で賑わいました。十四日に開催された懇親会には都市提携委員会平野委員長さん、平塚市市民部の小菅課長さんを始め関係者の方々、花巻からは観光協会佐々木会長他関係者が出席され、三十五年前に始まった市民交流が今日一層盛大に開催されていることを祝福し、今後の更なる交流の拡大に向けて乾杯しました。私も暫くぶりです出席させて頂きましたので提携当時の古い資料の中に平野さんがトレードマークの素敵なお帽子姿で写っておられる事をご披露申し上げると共に、長い間花巻との交流に尽力されてこられた事に感謝申し上げます。友好都市提携三十五周年の盛大な交流会となりました。

## 丹内獅子舞が今年も節分会に中野サンプラザ前で演舞

今年も3月3日(日)

東和町の谷内を本拠とする丹内金津流獅子舞が、新井築師の梅照院で演舞を奉納した後、中野サンプラザ前までパレードし集まった観客に演舞を披露しました。

例年通り、午後1時頃に鬼の衣装を着た若者たちに導かれ剣舞の演者とともの中野サンプラザに到着、1時半過ぎに丹内獅子舞の演舞が開始されました。この行事は既に中野の節分会の風物詩となっていて、この日も大勢の観客が演舞を楽しみました。

会場には、30年近く前にこの丹内獅子舞を梅照院に紹介した前在京東和町友会の会長佐々木幸三さんや蟹沢在京東和町友会会長も来場され、代表の小原源四郎さんや団員の方々と歓談していました。在京花巻人会からも瀬川会長他何人かの会員が応援に来ておりました。

演舞の終了後は写真タイムがあり、観客の方々が次々に躍り手の皆さんと一緒に写真を撮ってお



りました。丹内獅子舞もすっかり中野の皆さんに馴染んでいるなど感じました。

丹内獅子舞が終了した後は、剣舞のグループが演技を披露、中野サンプラザ前の演舞が全て終了。一行は中野駅北口から早稲田通を超え新井築師参道を練り歩きました。賢治のイーハトーブ

### 花巻レストラ in TOKYO

今年1月号の会報の「はなまきあれこれ」でも紹介した、「宮澤賢治のイーハトーブ花巻レストラ」が、今年2月7日から13日まで丸の内丸ビル5階にあるレストラ「小岩井農場TOKYO」で開催されました。

この花巻の豊富な農畜産物や農の風景を賢治のエピソードとともに紹介するという企画は、賢治





中野由貴さん

のファンで料理研究家の中野由貴さんのアイディア。花巻市農政課の肝いりで、既に昨年8/27、11/10、花巻の8つの飲食店で特別企画メニューを提供し成功裏に終了しています。今回は、この企画を東京のレストラン小岩井農場 TOKYO で実施しようというもの。編集部は2月10日(月)にランチを頂きに訪問しました。お店は丸ビルの東京駅側であり窓からは東京駅舎が見事に眼下に広がっていました。

料理は、「花巻の食材で童話を食べる」というコンセプトの通り、様々なアイディアが楽しませてくれました。例えば、花巻の雑穀を使ったイカスミリゾットには「黒曜石の星座盤」という名前がついており、ジヨバン二が時計屋で見た星座早見盤とカンパネラの銀河の地図をイメージした黒いリゾット。石黒農場のほろほろ鳥のソテーと花巻ブルーベリーソース

全国の短歌愛好家から寄せられた作品は、一般の部と中学生以下のジュニアの部合わせて約三万五千首。自由題は約

は「天の野原のリンドウ」と名付けられ、天の川を飛び鳥たち、咲くリンドウの花など、銀河鉄道沿線の野原の風景を描く、といった具合。様々な賢治ゆかりの場面に絡めて、花巻産の食材が豊富に提供されていました。(花巻市農政課パンフ・資料、編集部取材)



理事 高橋 滋明

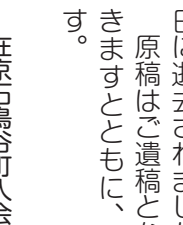
山口妙子さん  
全国短歌大会  
特選一席に入選

選者の一人、大辻隆弘さんは、「すきま」とは何もない所を言う。この幼児は、何も無いことに呼び名があることに気づいたのだろう。それも0(ゼロ)という数字を初めて発見した人のような驚きだったに違いない。新たな認識を獲得した喜び。」と選評を述べておりました。



山口妙子さん

選者の一人、大辻隆弘さんは、「すきま」とは何もない所を言う。この幼児は、何も無いことに呼び名があることに気づいたのだろう。それも0(ゼロ)という数字を初めて発見した人のような驚きだったに違いない。新たな認識を獲得した喜び。」と選評を述べておりました。



在京石鳥谷町人会 副会長 川村 政義

在京石鳥谷町人会副会長  
川村政義さんのご遺稿の掲載

昨年9月実施した花巻まつりツアーにご参加頂いた川村政義さんに、1月号の会報で特集を組むので、原稿をお願いしておりました。ところが昨年11月入院され、原稿が届いたのが12月半ばになり1月号には間に合いませんでした。それで、6月号に載せたい旨伝えておりましたが、誠に残念なことに今年の1月12日に逝去されました。

お孫さんの可愛いお嬢ちゃん一家が出席されていて、山口さんがお孫さんに優しい言葉を掛けるなど心温まるシーンもありました。

「花巻まつり」といえば4百年以上の歴史を有しているわけですが、「開催3日間のうち一度は雨がふる」というジンクスがあり、厳密な統計上、実際のところわかりませんが概ねあたってはいるようです。ツアー初日の昼食歓迎会の席上、上田市長のご挨拶のなかでも、昨年は3日間とも雨に見舞われた旨お話がありました。その意味で今年は大候に恵まれ本当に幸運であったといえるでしょう。

今から86年以上前の昭和8年9月17日から3日間の「花巻まつり」も珍しく天気に恵まれたようです。この年は3月に津波があったものの稗賣地方は大豊作でした。町中の山車が練り歩き大変な賑わいだったことでしょう。当時病床にあった宮澤賢治は、門の前まで出て、神輿の渡御に拝礼し、鹿踊などを見て楽しんでおりました。彼は残念ながら2日後に逝ってしまいましたが、この時絶筆となる短歌2首を詠んでおり、そのうち1首が歌碑

として鳥谷ヶ崎神社境内に建てられています。方十里 稗貫のみかも 稗熟れて み祭り三日 そらはれわたる

彼は、稲や雑穀の豊作で人々の潤う姿に大いに喜んだことでしょう。想像でしかありませんが、最期の場面では、稗貫十里四方三町十一か村の地質調査や、農民の肥料相談を通じて農業指導してきた日々が走馬灯のように頭のなかをよぎったことでしょうか。半生を「農」への想いに捧げた彼は、多彩な顔を持つ人ですが、農民の生活向上を目指して花巻農学校の教職をなげうってまで農業指導の実践を通じた社会貢献活動を最後まで行ってきました。最も尊敬してやまないところで

今回の旅でこの歌碑に接し、自分を差し置いてでも他人を思いやる心、すなわち自己犠牲の精神の発露の所以が奈辺にあったのか、改めて考える機会を与えていただいたと喜んでいます。ありがとうございました。

## 《はなまき あれこれ》

### 新総合花巻病院が竣工、3月開院に向け準備

公益財団法人総合花巻病院（大島俊克理事長）は、18年2月から旧厚生病院跡に移転整備を進めてきましたが、昨年11月16日に新病院が竣工しました。

病院棟と特定施設棟（介護付き有料老人ホーム）を中心に、完成した花巻看護専門学校、建設中の事業所内保育施設を一体的に整備し、地域に根差した病院として住民への医療・福祉の貢献が期待されています。

同日には関係者約70人が出席して竣工式が行われましたが、神事で完成を祝った後大島理事長から「工事が予定通り進捗し、病院と看護専門学校の完成を迎えることが出来た。（中略）来年3月1日に開院となるが、花巻市民の医療と介護に貢献できるよう努力したい」と挨拶がありました。又、17日には花

巻市民向けの内覧会も行われたとのことでした。

本体の病院・特定施設は鉄骨造り6階建て、1階は外来と救急、放射線の各診療など、2階は手術室、検査室、リハビリテーション室など。3～6階は病棟で病床数は198、介護付き有料老人ホームには85の個室が整備されています。

今後、医療機器などの搬入を進めるとともに、2月末には現病院の入院患者の移送を行い、新病院の診療開始は3月2日からとなります。

（岩手日日新聞オンライン2/17版より）



### 全国高校生★童話大賞2019受賞作品決定

今年19回目を迎える「全国高校生童話大賞」は、心に残る多くの童話作品を書いた宮澤賢治が生まれ育ったまち花巻が、高校生の豊かな想像力と自由な表現力を発揮してもらおうと毎年開催しています。

今年も、多くの作品が集まりましたが、応募総数は192校725編、その中から最終選考の結果、徳島県立富岡東高校3年 藤川諒子さんの作品『普通じゃない』が金賞に選ばれました。この他、銀賞3編、銅賞7編、奨励賞1編の受賞者が決まりました。

表彰式は、昨年12月14日、午後3時より「なはんプラザ」において開催されました。式典では表彰式他、花巻北高校放送部による大賞作品の朗読や同

校合唱部による合唱も披露されました。なお、受賞した皆さんには盾と図書カードが贈られ、さらに金賞と銀賞受賞の4名には賢治のふるさと花巻への研修旅行が副賞として贈られました。

受賞作品は小冊子に取りまとめ表彰式会場などで配布されましたが、同大賞ホームページ（<http://www.koukousei-douwa/index.html>）に掲載されています。（広報はなまき12/1号より）



### ぐるっと花巻・再発見！～イーハトーブの先人たち～

花巻市生涯学習課が市内五つの文化施設で企画する「イーハトーブの先人たち」をテーマにする共同企画展が今回も昨年12/7から今年の1/26まで、各施設で実施されました。

今回は、新渡戸記念館は北海道大学第6代目学長で、リンゴの神様と呼ばれた島善鄰氏を紹介、花巻市博物館では花巻の文武の藩学「揆奮場」設立に奔走した松川滋安を特集、萬鉄五郎記念美術館では花巻で美術活動をけん引し、賢治の詩集「春と修羅」の外箱装丁にもかかわった阿部芳太郎の遺作展、大迫の花巻総合文化センターでは、大迫でブドウ作りに取り組んだ人々やワイン造りの歩みなどが紹介されています。

今回注目されたのは、高村光太郎記念館の「光太

郎からの手紙」。昨年12月の朝日新聞の文化欄でも取り上げられました。神奈川県に住む高橋光枝さん（85）が中学3年生の時にファンとして出した手紙に、光太郎が昭和25年9月に返事を「お手紙がこんな山の中まで来ました」で始まるハガキで出したのです。高橋さんは昨年9月にハガキを賢治記念館に寄贈しました。

ハガキには、「この山にいて小生死ぬまで詩や彫刻を作るつもりで居ります」とあり、創作への思いと、死ぬまで太田村にいるつもりだったことが確認できる貴重な資料と考えられます。

（朝日新聞2019.12、広報はなまき11/15より）





## 白金豚、地域資源循環への新たな挑戦

高源精麦株式会社が生産・販売する「白金豚(ブラチナポーク)」は、きめ細かな繊維で柔らかい肉質と味わい深くうまみのある脂身が特徴で、今や全国的にも知られる花巻を代表するブランド豚です。

数年前の朝日新聞でも「新発想で挑む～地方の現場から～」という特集で、「高源精麦」が取り上げられ、14年頃から白金豚に地元の水田で育てた国産のトウモロコシを使い始めて注目されていました。きっかけは香港への輸出を始めた頃、香港の取引業者から「日本の豚は良質だがエサは輸入、純粋な日

本産とは言えず、大丈夫か」と言われたこと。輸入飼料より割高だが、輸入飼料はほとんどが遺伝子組み換え作物であることなど、国産飼料のメリットも大きい。

代表取締役社長の高橋誠さんは、「量も少なく、様々な苦労もありますが、地域資源の循環にもつながるので、今後も挑戦していきたい」と意欲を見せています。

(朝日新聞、広報はなまき1/15号より)



高橋誠さん

## 「国際フェア in はなまき2019」開催される

去年12月1日(日)、第8回目となる「国際フェア」が花巻市交流会館を会場に午前10時から午後3時まで開催されました(入場無料)。主催は、花巻国際交流協会が組織した「国際フェアinはなまき2019実行委員会」。同協会は昭和64年「花巻市民一人ひとりの国際化の実現のため」に設立された公益財団法人で様々な国際交流事業を行っています。

この国際フェアは、花巻に居ながら、海外の文化を見て、触れて、体験できるイベント。

今回の国際フェアでは、ステージ発表のプレゼ

ンテーションで青少年海外派遣研修から帰国した市内中学生が現地での体験を報告しました。又、ワールドキッズのコーナーでは、外国人による童話の紹介や絵本の読み聞かせ、JALポッチャ体験教室などが行われました。その他、世界各地や国際ILC施設を巡るVR体験コーナーや、世界のボードゲームなども人気を博していました。(花巻国際交流協会ホームページ、広報はなまき11/1号より)



## 2019「地産地消料理コンクール」最優秀賞

JAいわて花巻では、「食」と「農」を基軸とした安全・安心な取り組みを進める一環として「地産地消料理コンクール」を開いています。

昨年のテーマは「次世代に食べさせたい地産地消どんぶり」。

各地域合わせて21点の応募があり、高橋勉組合長他の書類審査を通った6点について、食味や技術性、外観などを審査しました。その結果、最優秀賞、優秀賞二つ、優良賞二つ、アイデア賞一つが決まりました。

最優秀賞は、花巻の佛川三千枝さんの「雑穀米味噌焼きおにぎり丼」が受賞しました。丼物におにぎりを合わせるというユニークなアイデアは、「味噌のおいしさを伝えたい」という一心で、子供たちの好きな味噌おにぎりを使用。これも子供の好きな鳥の照り焼きをのせて完成させたとのこと。

(ぼらーの花巻2019年12月号より)



佛川三千枝さん

## 昨秋デビューの八重咲リンドウ「蒼孔雀」好評

JAいわて花巻オリジナル品種の八重咲リンドウ「蒼孔雀」が、東京で昨年10月に行われた「日比谷公園ガーデニングショウ2019」で金賞を受賞、又、優秀品種選定発表コンテスト「フラワートライアルジャパン2019秋」でも、優秀賞を獲得しました。

昨年11月6日に、JAいわて花巻の鉢花生産部会の佐藤巧部会長他が市役所とJAを訪れて、両フラワーショウでの金賞、優秀賞の受賞を報告しました。

八重咲リンドウ「蒼孔雀」は、昨秋にデビューし

た、商業ベースでは初の流通となる八重咲リンドウです。又、この花は全く新しい形状と、花粉を持たず抜群の花持ちが魅力で、花巻ブルーの一つです。

なお、花巻のリンドウは東京オリンピック・パラリンピック2020のメダル授賞式でメダルと一緒に授けられるブーケの花にも選ばれているとのことです。(ぼらーの花巻2019年12月号より)



## ～最近メディアで取り上げられた花巻～

最近私達のふるさと花巻がテレビや新聞で取り上げられることが多くなり、驚きとともに嬉しく思っている方も多いと思います。そこで今回その一部をご紹介しますと思います。

### <テレビで花巻を取り上げた番組を二つ>

昨年12/7(土)、NHKの「ブラタモリ」(19:30～20:15)で花巻が取り上げられました。テーマは、「花巻は何故宮澤賢治を生んだ？」というもの。宮澤賢治が花巻で何を見、何を感じていたのか？名作はどのようにして生まれたのか？といった疑問から、タモリさんと林田理沙さんが花巻の各地を訪ねます。最初に訪ねたのが花巻東高校、やはりメジャーリーグに菊池投手、大谷選手を送り出しているからでしょう。ただ、さすがタモリさん、直ぐに校門前の道はかつて電車が通っていたことを見抜きました。その後、「銀河鉄道の夜」の列車のヒントになったのではという馬面電車を訪問、ヤマセから守るべく寒さに強い品種を育てた下の畑で地質を確認、羅須地人協会の建物では賢治が書いた肥料の処方箋に驚きます。さらに豊沢川と北上川の合流点の河原に行き石拾いをして、奥羽山脈からの火山系の石と北上山地からの海底隆起の石が集まっていることを確認。賢治の鉄道好きや新しもの好きとの面も知ることが出来て大変勉強になりました。

昨年12/3(火)と12/5(木)のテレビ朝日の「じゅん散歩」(9:55～10:25)で高田純次が花巻を散歩しました。3日は、やはり花巻東高校から始まり花巻駅へ、花巻温泉郷に向かう旅人との会話を楽します。次は「母ちゃんハウス だあすこ」へ、店名の「だあすこ」の由来を、店員からの賢治が鹿踊の太鼓音を「ダースコ」と表現していることから名付けたとの説明に納得。「がんすき」を試食し「しっとりとしてお母さんの肌みたい」とコメント。この日の最後は嘉治屋のわんこそば体験、高田純次は8杯を食べ「お蕎麦自体が大変美味しい」とコメントしていました。5日は、市役所の賢治まちづくり課を訪問、賢治ゆかりのスポットは90カ所にも及ぶと説明を受けます。次に山猫軒駅前店でお土産を品定め、幅が14センチもある賢治最中に驚きます。最後は宮澤賢治記念館、記念館には原稿など700点が展示されています。雨二モマケズの手帳をみた高田純次は「今から詩でも書かな」とコメント。内容が豊富で楽しい散歩でした。

### <全国紙の新聞で花巻が取り上げられた記事を三つ>

今年の1/7(火)の朝日新聞のシリーズ「志エコノミー」で紹介された花巻市にある「ヘラルボニー」社の社長松田崇弥さん。タイトルは「障害は異彩 ビジネスモデルに」。知的障がいのある人が描いたアートをネクタイやハンカチに印刷し、ウェブサイトなどで販売しているとのこと。金ヶ崎出身の松田さんは帰省の折母親に誘われ花巻市にある「るんびにい美術館」を訪問、アートを生かして何か出来ないかを考え始め、2018年7月に起業。現在作家は100人ほど、社員は6人で6月期には7千万円の売上高を目指しています。障害は大きな可能性をもっており、又、魅力的な作品には正当な対価が支払われるべきと話します。

同じく1/18(土)の朝日新聞に「国際語エスペラントは今」という記事が掲載されました。サブタイトルは「ネット時代に再ブレイク？」というもの。2017年にPC用ゲームとして発売された「百合ゲー(ム)」は約1万本以上売れ、主人公の少女が迷い込む世界で話す言葉「ユリアーモ」が実はエスペラントそのもので、ファンが参考書を買ったり、エスペラント学力検定試験を受けたりと、関心が広がっています。エスペラントは1887年ユダヤ系ポーランド人の眼科医ザメンホフが発表した人口言語。日本でも、新渡戸稲造が普及に一役買っています。記事中の「日本でのエスペラントの歴史」の表には、宮澤賢治が1926年東京で日本エスペラント学会の初等講習会を受講した事、2014年にはJR釜石線24駅でエスペラントの愛称を付けたとあり、花巻駅の駅名標のイラストも掲載されました。

毎日新聞の「聖火が走ったまち(1964～2020)」シリーズで、2月に花巻が「大食堂にぎわい再び」と題して掲載されました。「聖火は1964年9月24日花巻市へ。目抜き通りは人垣ができ、衣料品店「マルカン」の窓からアーケードの屋根に飛び移ってみる人もいた」とあります。マルカンは2016年に閉店、翌年市民の努力で大食堂が再開したことも紹介されています。





# 征夷大將軍と宮城北から 岩手中部の金山の歴史(私説)



梅津 興三

(花中31年卒)

「白河以北、一山百文」という言葉をご存知でしょうか。これが何時の時代から世に喧伝され始めたのか、諸説がありませんが、有力なのは戊辰戦争時に官軍が「賊軍の東北地方一帯を蔑む意味」で言い始めたと言われています。又それ以前のかなり昔からという説もあります。

す。こうした見方に毅然として対峙した例としては

- ・宮城仙台の日刊紙「河北新報」
- ・岩手出身の原敬(最初の内閣首相)の政党内閣の首魁(の雅号「一山」(いちざん))
- ・銭形平次の野村胡堂(本名は長一)の「胡」(中国での北方未開民族)、並びに野村胡堂の音楽評論家ネームの「あらえびす」(荒夷の意味)など

◎しかし、歴史を振り返れば、奈良時代の聖武天皇時、日本で初めて「金」が陸奥国遠賀郡迫で発見され(749年。仙台の北、古川の東15km 涌谷町)、奈良の大仏の金箔のかなりの部分がここから産出されたものでした。聖武天皇は、これ

を「国家始まって以来」と大いに慶び、年号を「天平」から「天平感宝」に変え、天皇のみならず奈良の上層階級の人々もこれを大変に喜び、万葉集で大伴家持は、

「天皇(すめらぎ)の御代栄えむと東(あすま)なる、みちのく山に金花(こがね)咲く」と歌っています。

◎それ以降、朝廷は陸奥国府「多賀城」の経営に力を入れ、さらに北方の金山支配を進めようとしたのですが、現地の蝦夷(えみし)部族が著しく抵抗し、特に中心人物のアテルイは一騎当千の武力を発揮し、朝廷側を悩ませました。朝廷は実力のある武将・坂上田村麻呂を2度に亘って派遣し(793~802年)、調略が功を奏して部族間の結束が崩れ、結局アテルイは降伏することになったのです。アテルイは田村麻呂の勧めもあって朝廷に恭順の意を表しましたが、朝廷は彼を誅殺しました(近年、アテルイの碑が、坂上田村麻呂と縁の深い京都清水寺の境内に関西在住岩手県人によって建立)。その間、坂上田村麻呂は第2代征夷大將軍となり、胆沢城(軍政の鎮守府、802年)・志波城(803年、両城とも岩手県)を築城し、この地域を完全に朝廷の支配下に置くことに成功しました。

◎アテルイの時代は終わったものの、その後も金による経済力を背に蝦夷の各部族が群雄割拠し、結局、朝廷は源頼義・義家親子(義経の高祖父と祖父)を派遣し、蝦夷の総大将の安倍頼時とその子の貞任・宗任兄弟を滅ぼしました(厨川の戦い)。それが前九年の役(1051~1062年)です。若年であった宗任は生かされ源頼義の下で育て、源頼義は凱旋後なんとかして征夷大將軍を目指しましたが朝廷への政略に敗れて、伊予之守となり松山へ赴任することになりました。(その松山で宗任は多くの子供に恵まれ、末裔は4つの流れになり、そのうちの1つが下関に渡った安倍晋太郎・晋二(現総理)の一族である)

◎その後の後三年の役(1083~1087年)、藤原清衡が源義家の支援の下で奥州を制圧し、藤原三代(清衡・基衡・秀衡)の「金色堂」に代表される平泉黄金文化時代が続いたのは皆様ご存知の通りです。この間、今の日語には「樋爪館」(清衡の四男が赴任。奥三郡(稗貫・紫波・岩手)の砂金・金山管理が主たる役割)が置かれ、この日語地域は平泉に次いで著しく繁栄しました。しかし、その後藤原四代目泰衡が頼朝に滅ぼされた(1189年)頃から、これら地域の金の生産量が残念ながら急速に減少したのです。おそらく砂金は掘りつくされ、大きな金脈は見つけられなかったと推測されます。

◎結局、それまでのアテルイ・安倍氏・藤原氏が支配した現在の宮城北から岩手中部の北上川流域と両側の山地(気仙を含む)には、古くから砂金・金山が数多く分布していたので、彼らは相応の経済力・軍事力を持ち、常に中央に抵抗してきたということなのです。逆に中央からすると、如何にして彼らを征服してその財力を手にするか、という歴史であったことから、そうした時代での坂上田村麻呂を始めとする「征夷大將軍(蝦夷を征服する)」は、中央にとつて極めて重要で且つ武人としての最高のポストであったということなのです。ただ、その後の征夷大將軍は、源頼朝・足利・徳川慶喜まで、朝廷が叙位する格式のある武人としてのシンボリックな地位に過ぎなかったかと思われ

(なお、江戸時代直前に大迫・佐比内地域に大きな金山(八木沢・朴木など)——厚朴金山覚書状)が見つかり花巻・盛岡の経済的發展を促し、その後産出量は減少したものの、南部藩の財政を支え、気仙地域の金山が伊達藩を支えたこと等は、記憶にとどめておくべき歴史的事実である)

以上



**佐々木 健一 (湯口中41年卒)**  
 数年前よりつどいの時に受付の手伝いをしてきましたが、まだ現役ですので理事になってどこまでやれるのかわかりませんがよろしくお願ひします。



**畠山 真 (湯本中47年卒)**  
 最初に参加した「歩こう会」では横浜の街を歩く参加者の元気な姿に目を見張り、県人会では多くの方々と貴重な話ができ、平塚の花巻物産展では花巻の方々の温かさに触れました。微力な私ですが宜しくお願いします。



**梅津 豊 (宮野目中47年卒)**  
 就活中、思いがけず瀬川会長から花巻人会招集を戴きました。本家のある大迫、生まれ育った宮野目が大好きです。理事の皆様より12歳も若輩ですが少しでもお手伝い出来ればと思っています。よろしくお願ひ致します。

**在京花巻人会新任理事のご紹介**

令和元年度下期(昨年10月)より、新たに5人の方に在京花巻人会の理事に就任して頂きました。以下各新理事の自己紹介です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



**高橋 滋明 (花中34年卒)**  
 上町出身です。趣味は音楽鑑賞、読書。日曜画家を目指して十三年になりますが大まだ。在京花巻人会では、一つでも出来ることはやっていきたいと思っています。



**福井 重雄 (南城中41年卒)**  
 花北を卒業し上京して、あっという間に半世紀が過ぎました。本業の医療施設のコンサルタント会社経営と農業法人のノウハウを生かして、花巻市のPRと活性化に役立つようお手伝いを致します。

**岩手県人連合会  
 第22回ゴルフ大会開催のご案内**

**開催日** 令和2年10月7日(水)  
**会場** 紫カントリークラブ(あやめ36)  
 〒278-0003 千葉県野田市鶴奉463-1  
 TEL 047-124-1177  
**費用** 参加費 5,000円  
 セルフプレー費 12,500円  
 (カート 昼食 ドリンク付)  
**締切日** 令和2年8月末日  
**問合先** 高橋千代吉 090-3135-5811



尚、岩手県人連合会の主要行事として恒例の首都圏からふる里へと元気エールを送る大会ですが、昨年の21回大会は参加総数189名でした。今期も昨年に勝る参加者をと呼びかけています。スタート組み合わせも仲間同士可能です。是非、皆様のご参加をお待ちしています。

**松田文男理事が退任**



毎回「在京花巻人のつどい」で、ウエルカムミュージックをクラリネットで奏でてくれておりました、理事の松田文男さんが昨年10月をもちまして理事を退任されました。体調がいま一つ思わしくないとのことですが、常任幹事として今後も在京花巻人会のイベントにはご協力頂くことになっています。長い間、ご苦労様でした。

**第27回歩こう会中止のお知らせ**

**「下谷~三ノ輪~北千住まで  
 一葉ゆかりの下町散歩」**

5月23日(土)に予定しておりました第27回歩こう会は、新型コロナウイルスの感染防止のため急遽中止させて頂くことに致しました。このコースは、今秋ないしは来春に実施したいと思ひます。次回をご期待下さい。

**令和2年度在京花巻ふるさと会の主な行事予定**

開催日	地区名	内容	会場・等	最寄り駅
5月23日	在京花巻人会	25回歩こう会	下谷から北千住	中止
6月7日	岩手県人連合会	総会・親睦会	東天紅 上野店	中止
7月11日	在京花巻人会	総会&つどい	東京ガーデンパレス	中止
10月7日	岩手県人連合会	22回ゴルフ大会	紫CC倶楽部	東武野田線野田市駅
10月10~11日	花巻市観光協会	イトーヨーカドー	アリオ店(開催場所未定)	
11月上旬	花巻市観光協会	花巻物産展	いわて銀河プラザ	JR有楽町
11月1日	在京石鳥谷町人会	総会&集い	上野精養軒	JR上野駅
11月8日	在京東和町友会	総会&集い	東京ガーデンパレス	JR御茶ノ水駅
11月中旬	在京花巻人会	26回歩こう会	計画中	
2月3日	在京東和町友会	獅子躍・節分会	中野 新井薬師	西武新宿線新井薬師
2月初旬	岩手県人連合会	新春懇親会	東天紅 上野店	JR上野駅
2月中旬	花巻観光協会	物産・観光案内	平塚市民プラザ	JR平塚駅